



▲災害時支援協定企業による支援  
(発電機の優先リース)



▲災害時支援協定企業による支援(電力復旧作業)

震災に伴う発電所の停止により、電力供給力が大幅に減少しました。  
電力需要が増大する夏場や冬場には、使用電力の15%減を目指す節電対策の取り組みを市広報紙などで呼び掛けました。その結果、多くの市民の皆さんに協力をいただき、計画停電・大規模停電を回避できました。  
また、市役所や各総合支所でも、使用電力の20%減を目標に節電に取り組みました。

### ■節電への取り組み

**企業再生のために**  
市では、被災した企業者の事業再建を支援するため、被災者支援策に「小規模企業者災害復旧補助金」や「東日本大震災中小企業災害復旧融資利子補給補助金」を盛り込みました。「小規模企業者災害復旧補助金」は、被災した施設や設備を復旧する費用に対し100万円を上限に助成するものです。また、「東日本大震災中小企業災害復旧融資利子補給補助金」は、事業再建のための災害融資資金の利子の一部を助成するものです。

### ■災害時支援協定企業などからの支援

市では、大規模な災害が発生した際、物資の供給やライフレインの早期復旧など、さまざまな分野で支援していただくため、56企業と災害時支援協定を結んでいます。  
今回の震災では、生活物資の優先購入や無償輸送、発電機やプレハブなどの優先リース、給水作業など、多岐にわたる支援を受け、生活環境の早期復旧を進めることができました。  
また、市に届いた支援物資を仕分けし、整理するなどの作業に、市内企業から支援をいただきました。



▶災害時支援協定企業による支援  
(仮設トイレ無償輸送)

## 下水道施設



▲マンホールが隆起したことで、路面まで大きく亀裂が入りました(築館・市道金華山線)



▲復旧工事を進めています

## 道路



▲路面が波打つように大きく崩れました(若柳・市道沢辺大岡線)



▲復旧工を行い、元どおりに通行できるようになりました

### ■公共施設の復旧

#### 道路

平成24年3月31日現在、被災した市道のうち約56%が復旧を終え、通常どおりの通行ができるようになりました。しかし、2カ所についてはいまだに通行止めが続いており、全面復旧に向けて順次工事を進めています。

#### 水道

浄水場や水道管などの水道施設は、すべて応急復旧や本復旧を終え、通常どおりの給水を行っています。

平成23年度で約52%が本復旧し、平成24年度末までにはすべての応急復旧箇所が本復旧する予定です。

#### 下水道

市内各地でマンホールの隆起・沈下などが発生した下水道施設は、災害査定を終え、復旧工事が始まり、全面復旧に向けて順次工事を進めています。

#### 社会教育施設

復旧が完了した施設から、順次利用を再開しています。既に、けやき会館について

は平成23年12月に利用を再開しましたが、その後、平成24年4月1日には、栗原文化会館、栗駒総合体育館(プール含む)の利用を再開しました。いまだ6施設が使用不能となつていますが、平成24年7月末までに、すべての施設の利用再開を目指しています。

#### 学校施設

志波姫小学校と清水中学校を除くすべての学校施設で、復旧工事を終え、通常どおりの利用が始まっています。

復旧工事が残る志波姫小学校は、校舎および体育館の新築復旧を進めています。

また、高清水中学校は、平成24年6月末までに復旧工事の完了を予定しています。

#### 観光施設

花山温泉温湯山荘については平成23年4月に、ハイルザーム栗駒については平成23年7月に、営業を再開しました。また、金成温泉金成延年閣については、利用再開に向けて復旧作業を進めています。